

船場センタービルだより

VOL.08



SEMBA CENTER BLOG 50th ANNIVERSARY

来年3月の開館50周年に向け、記念事業が動き始めました。

まずはステキなロゴの発表です。

多種多様なお店や人々をカラフルな色で表現し、道路を積んだ建物に雲が流れる。

輝く太陽が50周年を祝い、ビルの中で商品や人を探す目が印象的です。

たくさんの要素が詰め込まれ、細部にこだわった意味合い深いデザインですね。

50周年記念始動!
みんなで50周年を
盛り上げましょう!!

50周年記念のメイン事業は、特設Webサイトになります。

その名も“**ディグ船場50**”船場センタービルを著名ライターさんが独特の視点で取材した記事の特設Webサイト内に次々と掲載していきます。(お楽しみに!)ひょっとすると、皆さまのところに編集者さんがお伺いするかもしれません。

その時はぜひとも取材のご協力をお願いします。

ビルに来たことのない人や決まったお店にしか行かない人に船場センタービルのディープなところを知ってもらい、たくさんの方がビル内を探検し、今までにない買い物や楽しみ方を見つけていただきたいと思っています。

船場いまむかし

第8回目は1周年記念
船場どやどや祭り!

ビルが昭和45年3月に開館し、その翌年に行った1周年記念では昭和ならではのイベントがありました。

●「船場どやどや祭り」

オープニングセレモニーでの司会はABCラジオの中村鋭一さん。宝船をモチーフにした舞台上で“どやどや娘”による“どやどや音頭”(ゴーゴーアレンジの洋舞もあり)。そして地方主要都市にキャラバン隊が巡行し、“どやどや行列”として7福神(岡八郎、平参平、谷しげる、船場太郎、中山美保ほか)と御堂筋をパレードしました。その他のイベントでは、お餅つきや船場寄席、フジカラー写真コンテストなどがありました。

ビルが誕生し、期待や情熱といった熱量の大きさを感じざるを得ません。

“どやどや音頭”は、ソノシートになって配られたそうです。

さわり部分は船場センタービルのホームページで聞くことができます。



こちらから
聴くことが
できます



船場センタービル連盟からのお知らせ



第11回 船場まつり

2019. 10/4(金) 5(土) 6(日)

主催：船場まつり推進協議会・船場倶楽部

昨年で10回の歴史を重ね地域に定着してまいりました今年船場まつりは新たな10年へ向けた令和元年再出発の年に当たります。

船場センタービル館内では、各種イベント、誓文払い大感謝市スクラッチ抽選会の開催など、ご家族で楽しめるイベント、売出しを予定し皆様のご参加をお待ちしております。



予定している館内イベント

- 恒例のラジオ大阪サテライトスタジオ
- 船場鉄道フェスティバル
- 船場あっちこっちラリー
- ふるさと物産展
- 特設まつり会場での催物

11/4(月・祝)、3/29(日) 今年も開館!

昨年に引き続き11月4日(月・祝)、3月29日(日)開館いたします。

11月4日(月・祝)は御堂筋オータムパーティーの開催に合わせ、ビル内でもイベントを実施する予定です。

来年の3月29日(日)は大創業祭が開催され、ビル開館50周年記念もハイライトになります。



(写真は昨年の御堂筋オータムパーティーの様子です。)

道路占用料の取消訴訟第1審で勝訴判決

当ビルは大阪市道、阪神高速道路と一体に建築された建物であり、道路敷きや道路の高架下を使用する場合に課される道路占用料は、ビル開館当初から免除されてきました。

ところが、平成26年から大阪市が当ビルの敷地の一部を所有する(独)日本高速道路保有・債務返済機構に、固定資産税等の免除措置を廃止したことから、固定資産税等相当額を道路占用料として当ビルに請求され、現在までに約7,300万円支払ってきました。

当ビルとしては、この道路占用料の請求が不服だとして(独)日本高速道路保有・債務返済機構を相手側として取消訴訟を大阪地方裁判所に提訴してきましたが、7月31日に判決があり、道路占用料の請求は取消しとして、当ビルの主張が認められました。



全館トイレの洋式化

ビルのトイレは、一部リニューアルして洋式化になっているところもありますが、今も半数以上が和式です。

この度、皆様のご要望にお応えし、全館のトイレ洋式化が決定いたしました!

更に可能な箇所はブースを広げるなど環境改善に取り組みます。

工事は今年の10月から約2年間かけて行う予定ですので、工事期間中はご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



洋式トイレ
Western Style Toilet

